

# 平成20年3月第1回幸田町議会定例会 報告 1/2

## 議会報告 3月定例会

平成20年3月定例会は、3月4日に召集され、28日までの25日間開催されました。単行議案 14件、補正予算関係 7件、当初予算関係 10件の議案が上程され、いずれも原案通り可決した。

## 新年度当初予算案

新年度の一般会計当初予算は、133億5800万円(前年比7.8%増)、特別会計、水道会計をあわせて総額209億4925万円(前年比1.9%の減)。町税は、自動車関連産業の業績好調を見込み、90億円(前年比1.6%増)見込みである。

### 歳出の主なもの

・給食センターの移転改築	・・・11.0億円	その他	・A D Sの設置20基	・・・520万円
・幸田小学校北、南校舎増築	・・・2.1億円		・生活道路当整備工事	・・・5000万円
・国道23号バイパス「道の駅」建設	・・・1.4億円		・道の駅建設等	・・・1億4332万円
・町道野場横落線道路新設	・・・2.6億円		・道の駅整備負担	・・・4489万円
・子ども医療費の中学卒業まで無料化	・・・2.0億円		・放課後子ども教室	・・・1102万円

## 議案の中身について(主な議案を抜粋し記載します。)

### ・幸田町地域安全ステーションの設置及び管理に関する条例の制定について

「菱池に地域安全ステーションが建設設置がされました、その運営にかかわる条例の制定です。」

### ・幸田町国民健康保険条例の一部改正について

「健康保険法等の一部改正に伴い、葬祭費の支給が「10万円 5万円になります。」

### ・幸田町後期高齢者医療に関する条例の制定について

「4月1日から後期高齢者医療制度が実施されることに伴う条例の制定です。」

### ・幸田町奨学金支給条例の制定について

「高校に在学していて、経済的理由により修学が困難なものに対し、一人5,000円/月を支給する制度です。」

### ・幸田町手数料徴収条例の一部改正について

「放課後子ども教室事業の施行(荻谷小学校区)に伴い、手数料を3,500円/月の条例を一部改定します。」

### ・幸田町体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について

「深溝運動場を新設することに伴い、1,000円/1面(8/1～予約・9/1～使用可)の条例を一部改定します。」

## 一般質問

3月7日・8日で、7議員が、一般質問をした。 「さこう 弘康」・・・3月7日、9時より

### <質問のポイント>

後援会の皆さんの関心や要望の声の多い交通安全の問題の、町当局の交通事故防止施策の状況について質問をした。

### 【引き出した答弁】

事故多発交差点は、優先的に早期事業化に向け働きかける。町のホームページに「交通安全」情報提供の体制を進める。幸田駅、交番に「事故発生件数掲示板」の取り付けを検討。

**『岡崎市をはじめ、広域連携をとりながら当面は自立を目指す』**

H20.3/8 中日新聞

**【幸田町長】**



【幸田町】再開。酒向弘康(無所属)伊藤宗次(共産)大嶽弘、夏目一成、杉浦務(新政ク)水野千代子(公明)の6氏が一般質問した。近隣市町との合併について、近藤徳光町長は「見送った経緯があるが、道州制を考えると避けて通れない課題。岡崎市をはじめ、西尾市、幡豆郡(幡豆、吉良、一色の三町)、蒲郡市などと広域連携をとりながら、当面は自立を目指したい」と答えた。

H20.3/7 東海愛知新聞

H20.3/7 中日新聞

加藤繁行議員(民主) 幸田町との合併 視野に連携強化

岡崎市議会代表質問続き 5日

クが、今後の市町村合併への本市の取り組みについて話した。太田恒治企画政策部長

て道路などの基進んだことや横展などにより人生活圏が拡大し広域的な行政費ます増大してき況だ」とした

### ~ 近隣首長のコメント ~

#### - 岡崎市 -

『幸田町との合併を視野に入れつつ近隣自治体とも連携を一層強化。』

#### - 西尾市長 -

『1市3町が第一歩、将来的には西三河が一つになればよい。』

#### - 一色町長 -

『西尾市と幡豆3町の合併推進。』

#### - 吉良町長 -

『合併慎重、愛知12区まで広げる。』

#### - 幡豆町長 -

『任期3年以内に合併をまとめたい。』

合併論議14カ月ぶり  
西尾市と幡豆郡3町 新年度に幹事会  
西尾市と幡豆郡三町の合併論議が六日、約一年二カ月ぶりに再開され、四首長による会合の名称  
西尾市と幡豆郡三町の合併論議が六日、約一年二カ月ぶりに再開され、西尾市長と幡豆町長、吉良町長、一色町長の四首長による会合の名称  
西尾市長と幡豆町長、吉良町長、一色町長の四首長による会合の名称  
西尾市長と幡豆町長、吉良町長、一色町長の四首長による会合の名称  
西尾市長と幡豆町長、吉良町長、一色町長の四首長による会合の名称

住民にとって、今後行政サービスの低下にならない様、効率化を図っていくことは必要であり、本格的な地方分権時代を向かえ地域主導型の自立した政策展開をしていくために、広域化は避けて通れないことです。皆さんの声を十分聴き、その意見を尊重しながら、進めていく問題であると考えています。